交通・防犯関係部課長会議　会議録

１　日　時　令和元年７月２９日（月）　午後１時３０分から午後３時００分

２　会　場　愛知県自治センター大会議室

３　当番市　犬山市

４　出席者
愛知県・・・県民安全課長　竹村　賢二
警察本部・・・交通総務課交通死亡事故抑止総合戦略室長　渡邊　教義
市・・・名古屋市地域安全推進課長　橋本　真司　始め３８名
市長会事務局・・・財政係長　園田　一樹　始め２名

５　内　容

①開　　会　市長会事務局　財政係長　園田　一樹

②あいさつ　県民安全課　課長　竹村　賢二

③議長選出　犬山市地域安全課長　百武　俊一

④議　　題
【議題１】
未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策について（碧南市提出）
【要旨】
令和元年６月１８日付けで愛知県防災安全局県民安全課交通安全グループより通知がありました内閣政府統括官からの「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策について」を受けて、各市町村でどのような取り組みを考えておられるか、お聞かせください。
●愛知県警
県警としても各市町と協力し、未就学児等についてはお散歩コースの安全点検を継続して実施している。同じような道路形態についても積極的に安全施設を整備していくよう働きがけをしながら進めていく。また、高齢運転者についても免許証返納者に対しての特典付与など企業体へ働きかけをしているがまだまだ足りないた

め、グランドデザインも視野に入れながら進めていく。引き続きご協力いただきたい。

●東海市
　未就学児関係で県から通知があるが、東海市では「スクールゾーン」がない。ゾーン３０は標識なくても規制できるが、キッズゾーン、スクールゾーンの考え方についてお話を伺いたい。
●愛知県警
　内閣府より、スクールゾーンの設定基準については６月中に教育委員会に依頼をするとある。キッズゾーン創設についてはスクールゾーン設定基準に準じ、今秋を目処に検討するとのことであるため、現段階では回答を控えさせていただく。

【議題２】
　再犯の防止等の推進に関する事務について（豊田市提出）
【要旨】
　法務省所管の当事務について、各市によって担当部局が相違している。おおむね福祉と防犯に分かれているが、各市の考えをお伺いしたい。
●豊橋市
　罪を犯した人が再び犯罪を侵さないようにということで保護司が密接に関わる。保護司の管轄課の福祉部と、犯罪が起きないまちをつくるという目的の安全生活課がある。福祉の方が所管するべきだと考える。県で県民安全課が所管課となった経緯を知りたい。
●愛知県
　再犯防止法の目的が「犯罪の減少」であり、安全安心のまちづくりが目的のため当時の地域安全課となった。現実に動き始めると保護司や雇用主など、福祉部局が関わる方なので、新たな関係構築をしないと仕事が進みづらいとは感じる。愛知県では令和２年度末を目標にモデル計画を策定する予定。今の流れは、県民安全課が寄り添い弁護士に出所者と面接してもらい住居・就職先を支援するモデル事業と、協力雇用主の元で働く出所者の雇用継続に関するモデル事業を実施し、結果を踏まえモデル計画策定予定。所管課について市町村よりさまざまなご意見を聞くが、継続して県民安全課が事務局となる。

【議題３】
　特殊詐欺対策電話機等の貸し出し、補助等の施策の有無について
　（豊田市、犬山市、弥富市提出）
【要旨】
　県内では振り込め詐欺犯人などからの様々な手口の前兆電話が日々確認されて

いる。そのため、犬山市では、特殊詐欺を未然に防ぐ対策として、自動通話録音機や詐欺対策電話機の補助を検討している。つきましては、自動通話録音機や詐欺対策電話機の購入費補助や貸し出しを現在実施している、または過去に実施された市がありましたら、その内容についてご教示願います。

●犬山市

刈谷市に不審電話防止装置の価格を2,000円と設定された経緯と、今年度9月議会補正予算で見直し計上されることとなった経緯をお伺いしたい。

●刈谷市

H28.7から不審電話防止装置販売にあたり、単価8,000円から10,000円の品物を入札により9,000円弱、毎年100台分の予算で購入している。価格を2,000円にした理由は、危機管理課で災害用ラジオを2,000円で販売している先行事例があったため同額とした。

65歳から60歳に年齢を引き下げるに至った経緯は、H30年度特殊詐欺被害者のうち60歳から64歳が8件と、65歳以上と同じような被害者数であったため拡大していく方針となり、9月議会での補正を予定。想定では11月か12月から開始。

【議題４】

高齢者の免許証自主返納者に対する独自の取組について（豊田市提出）

【要旨】

現在、愛知県警の取組として「高齢者交通安全サポート制度」があり、本市においても、免許返納者希望者に対して、特典を受けられるサポート企業の一覧を掲載したリーフレットを作成、提供しているところである。（本市独自の取組は現在ありません。）

（１）愛知県警から提供されるサポート企業の紹介以外に、貴市独自で提供している高齢者の免許返納者に対する取組（特典）の有無についてお伺いし、その内容について、また、今後新たに予定している取組についてもあればご教示いただきたい。

（２）独自の取組がある場合、導入後の返納者数、返納率などの推移データ、利用者の反応についても把握されているようでしたら、併せてご教示いただきたい。

●犬山市（議長）

豊橋市は選択制としているか。

●豊橋市

タクシー券、電車及びコミュニティバス共通券、元気パス半年券は選択制で、電動アシスト自転車補助金は12,000円既存の補助金（環境関係）に上乗せ補助として検討している。免許証返納したばかりの方は自転車移動をされると思われるため、郊外居住の方、近郊の方の補助金利用を想定している。９月議会で補正予算計

上予定する。
●犬山市（議長）
　蒲郡市、新城市も選択制となっているが、どれが多いか。
●蒲郡市
　名鉄バス回数券が一番多い。今年度、コミュニティバスを１路線から３路線とするため、コミュニティバス回数券が増える見込み。電動アシストについて次年度から実施を予定しているが、環境課で補助制度があるため、制度設計を検討している。
●新城市
　件数としては交通安全啓発物品が一番多い。コミュニティバスは市内全地域を網羅していないため、路線の近くでない方は利用が難しいため。高速バスについては、高齢の方は名古屋まで出向くことが少ないと考えられる。
●愛知県警
　免許証自主返納については厳しい問題がある。高齢者の事故が増えているため警察への問合せも急増している。免許証は一度返納したら二度と運転できないため、返納を悩まれている方も大勢いる。返納された方の移動手段はコミュニティバス等のほか、自転車も移動手段になるが、頭部負傷すると重篤な事故となる。そのため、ヘルメット着用の案内を広報啓発しているが、各自治体でも機会を見て案内を付け添えていただき、重篤な事故の減少、また、交通事故死ワースト１返上につなげていきたい。

【議題５】
　市が設置管理する街頭防犯カメラについて（安城市提出）
【要旨】
　次の内容について、ご教示ください。
　（１）道路・広場など不特定多数が通行、利用する場所に市が防犯カメラを設置しているか
　　※市の施設・駐輪場等に設置する施設管理用カメラは除いてください。
　（２）設置有りの場合は、防犯カメラの維持管理方法（賃貸借契約、買取りのため修繕費を予算計上など）
　（３）設置台数（道路〇台、その他駅前広場・公園など〇台）
　（４）令和元年度以降の設置予定
　（５）最終設置台数の目標の有無、有の場合は目標台数
　　※1～3 は、平成３１年３月３１日現在の状況を記載してください。
●安城市
　岡崎市に 1,000 台について設置場所等の計画があればお伺いしたい。
●岡崎市
　４～５年間で 1,000 台設置予定している。設置場所は警察と連携して設置案を岡

崎市で示し、選定・設置していく。現在、200～300 箇所については設置場所が決定している。徐々に増やしていく形にしている。
●東海市
　東海市ではみまもりポールとして設置を予定しているが、岡崎市はどういう形で1,000 台を予定しているか。
●岡崎市
　防犯カメラはインターネットに繋ぐものではなく、SD カード機能のものを設置し、警察から依頼があった時に映像提供する。常に見守るものではない。
●東海市
　中部電力のみまもりポールを東海市は考えているが、岡崎市は検討されているか。
●岡崎市
　ほどんどの電柱が中部電力であるため検討中。
●日進市
　今回の議題と少しずれるかもしれないが、日進市では地域を対象とする防犯カメラ設置補助制度がある。昨年、台風等の異常気象で防犯カメラが壊れた事案があり、地域より設置だけでなく修理に関しての補助制度の要望があった。修理（維持管理）に関しての補助制度を設けている市があれば参考としたい。
●名古屋市
　防犯カメラ修理に対しての補助金があるが、カメラ修理だけでなく幅広く一定額を配分し、自分たち（地域）で使いみちを決定していただき補助しているため、カメラ修理で補助金を使いたいが他の目的で補助金を使うという場合もある。また、名古屋市では H25 から防犯カメラ設置補助をしており、設置台数も増えてきていることから修理に関する声も上がってきているが、設置補助金の中では補助ができない。市独自でカメラを設置してほしいとの話もあるが、現在は財政的な問題で行っていない。

【議題６】
　会計年度任用職員への移行に伴う、交通指導員及び安全なまちづくり推進員の雇用条件の見直しについて（蒲郡市、知多市）
【要旨】
　令和２年度から、地方公務員法・地方自治法等の改正による会計年度任用職員制度導入に伴い、交通指導員及び安全なまちづくり推進員の雇用条件等の変更について、今後の参考とさせていただきたく、各市の状況をご教示願いたい。
●知多市
　名古屋市では月額がかなり下がると見受けられる。現在、雇用している方との折衝はしているか。

●名古屋市
　現在折衝はしていないが、月額は下がるがボーナスの部分が出るためトータルでの年収は今年度とほぼ同じであると考えている。
●岩倉市
　岡崎市の資料では、嘱託員の内訳が２段階となっているのはなぜか。
●岡崎市
　指導員は警察 OB であり、保育職は保育士の退職者。そのため月額が違う。嘱託員として雇用している。

【議題７】
　市民（公共団体以外）向けの防犯カメラの設置等に関する要綱、ガイドラインの策定状況について（東海市）
【要旨】
　東海市において、警察署や地域住民からの要望を受けて防犯カメラの台数増を検討中であるため、他市の状況を把握したいと考えています。
●犬山市（議長）
　条例設置しているのが一宮市とみよし市。多くは県のガイドラインを参考としている。一宮市とみよし市について市民向けのガイドラインを定めているか。
●一宮市
　「一宮市防犯カメラの設置及び運用に関する要綱」が正しいため訂正を（「条例」表記誤り）
●みよし市
　ガイドラインとまで言えるかわからないが、網羅している内容とはなっている。
●東海市
　半田市では地域が設置する場合、警察からの書類が必要である旨記載されているかお伺いしたい。
●半田市
　細かいところまではうたっていないが、データ取扱いによっては自治体と同じ扱いとし、市作成のガイドラインを参考にお渡しし、結果、同様の内容で作成していただいている。

【議題８】
　高齢ドライバーの事故防止を図るための補助制度の実施について（尾張旭市提出）
【要旨】
　近年、高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いによる交通事故の発生に伴い、市民から安全装置等購入補助についての問い合わせがあります。

そこで、各市、高齢ドライバーによる交通事故を防ぐ目的として、安全装置や安全装置を搭載した自動車購入補助の実施について御教示願います。

●犬山市（議長）

碧南市に導入された制度の申請状況についてお伺いしたい。

●碧南市

碧南市高齢者安全運転支援装置等搭載自動車購入費補助金は７５歳以上を対象としており高齢となってからの新車購入のため予算は1,000万円用意していたが、申請数は３０件である。月７件ほどと考えている。

後付け安全運転支援装置については、１２月から補助していくため９月議会で補正予算計上を予定している。補助額は６万円。（安城市と同時期・同額）何歳からにするのか、また、何割の補助にするのかは検討中。

●豊橋市

後付け安全運転支援装置について９月補正で２～３万円補助予定としている。高齢者で新車購入する方は少ないのではないかということで新車購入費補助金はなし。車の維持に対して補助すると考えている。設置にあたり福井県を参考とした。

もうひとつ、警報機との選択制として補助を９月補正で検討している。

碧南市と安城市に新車購入補助の申請方法は、ディーラーに頼むのか、購入して領収書を持って来れば受けるのか構想ができていたらお伺いしたい。

●碧南市

ディーラーでも個人（購入者）でも認めている。ただし、ディーラーの証明が必要な部分は確実にディーラーもしくは販売店で行ってもらう。

９月補正で予定している後付け安全運転支援装置補助についても同様にディーラーでも個人でも認める形で進めている。

●刈谷市

新車購入補助をH28.7からH30.3まで行っていた。ディーラーの証明を必要としていた。

後付け安全運転支援装置については、９月補正計上予定。上限６万円補助１２月から。年齢は新車購入補助が６５歳であったため６５歳か７０歳か検討しているところ。補助率についても３分の２または９割が課題として上がっている。

●安城市

後付け安全運転支援装置は７０歳以上を対象に補助率2/3で上限６万円を予定している。県での補助金制度を検討していただくことはできないか。

補助金の申請については、ディーラーでも個人でも受付予定だが、人によって金額がまちまちになるため、申請書提出、確認、交付決定をして取付け後請求いただく２段階でやらざるを得ないと考える。申請と請求を１本で予定している市があったらお伺いしたい。

●愛知県
　補助金予定はなし。いろいろな所から話は来ているが、国からの指示文書の中で認定基準を設けるとあるため、どのような認定になるのか待っている状態。
　逆に質問となるが、仮に県が補助金を出す場合、県の割合どのくらい求められているのか。また、補助金は誰に支払うのがスムーズなのか。
●安城市
　東京都の場合は９割補助で、ディーラーから東京都に請求の流れ。
●愛知県
　県に求められる内容を具体化して示していただくと県での部内議論が進みやすい。
●犬山市（議長）
　申請と請求を同じタイミングにされている市はあるか。
●碧南市
　新車購入補助は７５歳以上の方を対象としているため、何回も窓口に来庁していただくのは難しいと考え１本化した。しかし、監査から指摘を受けたため来年度から別様式とする予定。
　後付け装置補助については、別様式とする予定だが決定していない。
●刈谷市
　新車購入補助申請の際は申請と請求を１本化していた。後付けの補助についての制度設計はこれからのため決まっていない。
●名古屋市
　後付けの補助制度について、ディーラー設置と販売店設置（オートバックスなど）の二通りあると考える。名古屋市では安全性について国の性能認定制度を待っている状態。後付けの補助制度を予定している市に安全性は問題ないかどのようにお考えかお伺いしたい。
●安城市
　認定基準はまだ確定されていないが、東京都がすでに運用されているため、見切り発車的ではあるが販売店も認める形で進めている。
　オートバックスに確認したところ、商品を購入して個人での設置はできない。また、オートバックスで取付けした場合も設置後、本部の許可が下りない限り製品として引き渡しできない制度とのこと。
　今後、認定基準が確定された際、オートバックスが認定を満たさない場合、不安ではある。

【議題９】
　振り込め詐欺被害防止を図るための取組みについて（尾張旭市）

【要旨】
愛知県下において、高齢者を狙った振り込め詐欺が多発しております。
それに伴い、本市においても同様の事案が発生しており、市民から問い合わせが寄せられているところです。
そこで、各市、振り込め詐欺被害防止を図るため取り組みついて御教示願います。
●尾張旭市
特に質問はなし。
各市取組みを参考に勉強させていただき、必要があれば個別に質問させていただく。

⑤次年度当番市の決定　常滑市

⑥閉　　会　市長会事務局　財政係長　園田　一樹